

新入職員のお知らせ

特別養護老人ホーム・介護



北清(きたせい) 徹(とある)

- 出身地:北海道
 - 趣味:スポーツ観戦、甘い物を食べる
 - 一言:少しでも皆様のお役に立てるように頑張ります。
- どうぞ宜しくお願い致します。



佐々木(ささき) 友美(ゆみ)

- 出身地:千葉県
- 趣味:音楽鑑賞
- 一言:早く戦力になれるよう業務に邁進してゆきたいと思っております。

事故報告件数

5月	骨折	転倒	脱臼	皮下出血	転落	誤薬	誤嚥	感染	その他	計
特養	0	1	1	1	0	0	0	0	0	3
短期入所	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
6月	骨折	転倒	脱臼	皮下出血	転落	誤薬	誤嚥	感染	その他	計
特養	0	1	1	0	0	0	1	0	0	3
短期入所	0	2	0	2	0	0	0	0	0	4

ヒヤリハット報告件数

5月	計
特養	5
短期入所	0
6月	計
特養	5
短期入所	1

【介護事故事例研修】

今回の研修では軽微な事故を中心に検証を行いながら、実際に利用者役と職員役に分かれ、ご利用者様の立場や気持ちになれる体験型の研修を実施しました。

研修を通して、ケアを行う際にはご利用者様の安心・安全、心地良さなどに配慮すること。疾患の特徴を把握すること。心理面の理解を務めること。それらが介護事故の防止につながることを職員一同再認識することができました。



事故防止対策委員会
介護副主任 内村尚史

※安立園独自の事故・ヒヤリハットの区分に基づき集計した件数になります。

● おそくなりになられた方 ●

〇〇様 85歳 〇〇様 93歳 〇〇様 91歳

施設で看取る事が出来ました。

謹んでご冥福をお祈りいたします

～ご家族の皆様へお知らせ～

当ホームでは、日々の介護・看護業務において大切に考えている、「7つの基準」があります。前号に引き続きその中の一つを説明させていただきます。

7つの基準 その②【進歩と自己成長】

ご家族のみなさまへ

当ホームでは、日々の介護・看護業務において大切に考えている「7つの基準」があります。今回は、「進歩と自己成長」の基準です。

この基準のキーワードは、「自発的な自己成長」と「古い知識で業務をしない」の2つです。

現在、特養・ショートの特養介護職員は、27名いますが、25名が介護福祉士の資格を持ち、1名が今年受験の予定です。残りの1名は、この仕事に就いたばかりです。この資格を取るために努力することは、みんなの常識となっています。

また、介護に関する機器は、デジタル機器の発達で常に変化しています。大柄なご利用者のケアを力任せにおこなうと、職員は腰痛を発症してしまいます。スムーズな移乗介護ができるよう「スライドシート」「スライドボード」を活用し、滑らせるケアをおこなっていますが、次世代介護機器「HUG」にもトライして進歩をめざしています。今年にはさらに新たな機器にも挑戦したいと考えています。

失敗を恐れずに、毎年、一歩でも進歩する組織と職員は、10年経つと、大きな進歩を遂げていくことに気が付くことができます。



特養ホーム 施設長 原健作

ご利用者様のご家族から「ミシン」のご寄付を頂きました！
職員一同、感謝申し上げます。
本当にありがとうございました。

ありがとうございます！



編集：安立園特別養護老人ホーム 広報委員会（河合 井上 池端 青柳）